

# Municipal News

市政  
ニュース

## 情報通信網の整備

### 市内にフリー Wi-Fi を整備



市では、大規模災害発生時の情報通信手段の確保や施設利用者の利便性の向上のため、公民館などに無線 LAN 環境（無料で利用できる Wi-Fi）を整備しました。現在、市内 27 箇所で利用できます。災害時はもとよりイベントなどでぜひご利用ください。詳しくは市ホームページでご確認ください（市ホームページは右上の QR コードからアクセスできます）。●問：地方創生課（Tel 23 - 1148）

## 全国に小林を PR !

### (株)ミヤザキが教育振興を目的に市へ 2100 万円を寄付

(株)ミヤザキが、教育振興を目的に小・中学校 1 校につき 100 万円、計 2100 万円を市教育委員会に寄付しました。9 月 25 日に寄付受納式が行われ、同社山之上道廣代表取締役（細野出身）は、「地元には何か恩返しができないか考えていました。今後の西諸を支えるのは子どもたち。その子どもたちが、将来に夢や希望を持てるように今回寄付を申し出ました」とあいさつ。いただいた寄付金は今後、読書活動や ICT 教育など学校教育の充実のために活用していきます。また、同社はえびの市、高原町にも寄付を行いました。



同社は平成 4 年に創業した合成樹脂加工会社。誘致企業として市内に 5 つの工場を持ち、従業員全員を西諸地区から雇用しています。

## 小林市が進める政策や事業を紹介します

### 起業・創業を支援

### TENOSSE を利用しませんか？



「まちなかをチャレンジの場に」をコンセプトに設置されたコワーキングスペース TENOSSE。起業しやすい環境づくり、既存事業の新たな展開の後押し、市外の新たな人材の呼び込みなど、安定した雇用と新しい人の流れを創出することが狙いです。人と人をつなぎ、そこから生まれる多様なアイデア、技術、考え方を掛け合わせ、皆さんのチャレンジを支援します。レンタルオフィスやフリー wifi、プリンタ・ファックスなども設置していますので、ぜひ活用ください。●問：コワーキングスペース TENOSSE（Tel 27 - 4711）

小林の  
わけもん  
Vol.28

## YOU CAN MAKE IT !! KOBAYASHI YOUNG

小林にゆかりのある「がんばる若者」を紹介！

### ガールスカウト宮崎県連盟第 14 団

ふくなが ゆうか  
福永 裕香 さん



海外研修ではアメリカ・イギリス・カナダのスカウトと国連の見学、観光や登山などで交流しました

**いずれはリーダーの研修を受けたい**  
**ガールスカウトの良さを教えたい**

「自ら考え、行動できる女性の育成」を目指すガールスカウト。小林高校 3 年の福永裕香さん（18 歳）は、小学 1 年から 10 年以上活動を続けています。

「学校では教わらない緊急時の対処方法や野外での活動などを自ら体験できることが魅力です」。

今年 8 月には、海外研修でスイスを訪問しました。

「初めての海外で英語が話せるか不安でしたが、国内外の仲間たちとさまざまな意見交換ができ、貴重な体験になりました」。

高校卒業後は、進学し活動からは一旦離れる予定。「スカウトの活動を通して本当に多くのことを学ぶことができたので、将来はその良さを教える側になりたい」と夢を語ります。

## いつ発生するかわからない災害に対し、常に危機意識を。

9 月 30 日、大型で非常に強い勢力の台風 24 号が九州南部を通過しました。2 週連続の台風接近に緊張が高まりました。

台風 24 号は、市内 3700 戸の停電、停電による水道施設の機能停止、国道や市道の通行止め、野尻給食センターの機能停止、農作物被害や各種イベントの中止など多くの影響を出しました。被害を受けられた皆様には、心よりお見舞いを申し上げます。

特に、紙屋・内山地区を中心に山崩れや倒木による電線の切断が停電を引き起こし、停電は水道の給水施設にも影響を及ぼしました。市は、飲料水の確保を最優先とし、発電機を使用して給水施設を維持したところで

また、市内全域で消防団員の皆様の迅速な災害



宮原市長のコラム  
「信念を貫く」  
Check! Volume.3

対応により、人的被害を出すこと無く、最小限の被害に食い止めることができました。

災害は、いつ発生するか分かりません。常に危機意識を持ち、日ごろから、家族、近隣にお住いの方々と災害発生時についてお話しいただくことが重要かもしれません。我が家でも、もう一度、家族と話をしてみたいと思います。